

【様式1】

岡山県学校部活動の在り方に関する「学校部活動方針」実践推進事業 実践事例集

- I 部活動を通じた食育の推進
- II 合理的でかつ効率的・効果的な活動実践

【総社市立総社西中学校】

1 実践テーマ	II 合理的でかつ効率的・効果的な部活動実践
2 実施対象部活 (学年・人数)	バドミントン 令和6年度(2年22名、1年12名)
3 実施期間	令和6年8月～令和7年3月(8か月)
4 達成目標	成績(団体戦)県総体ベスト8以上 (個人戦)単3名・複3ペア以上出場 生徒 ①主体的に取り組むことができる ②アンケートの達成率が90%以上 顧問 ①準備や指導などの負担が減る ②練習メニューを改善できる
5 取組内容	<p>「講師による指導のもとでの効率的・効果的な部活動実践」</p> <p>I 「効率的・効果的な練習方法」</p> <p>①コート外での練習メニューの工夫</p> <div data-bbox="497 1019 1428 1400" data-label="Image"> <p>＜コート外での練習メニュー＞</p> <p>シャトル置き      ラダー      筒ジャンプ</p> <p>縄跳び 素振り テニスラケット素振り チャイナステップ 筋肉トレーニング 壁打ち など</p> <p>ハンドトレーニング</p> </div> <p>②講師によるノックの球出し・スパリング・実践</p> <div data-bbox="481 1460 1428 1818" data-label="Image"> </div> <p>II 「効率的・効果的な指導法・運営」</p> <p>①「部活アプリクラブマネージャー」の導入 ・費用1人あたり年間880円(ライトver)</p> <div data-bbox="1040 1877 1220 2049" data-label="Image"> </div>

### <予定表の管理>

### <試合結果のデータ化>

名前	名前	VS	名前
結果ゲーム数	2	--	0
得点1G	21	--	15
得点2G	22	--	20

名前	名前	VS	名前
結果ゲーム数	0	--	2
得点1G	17	--	21
得点2G	9	--	21

名前	名前	VS	名前
結果ゲーム数	1	--	1
得点1G	21	--	19
得点2G	12	--	21

名前	名前	VS	名前
結果ゲーム数	0	--	2
得点1G	17	--	21
得点2G	12	--	21

名前	名前	VS	名前
結果ゲーム数	0	--	2
得点1G	8	--	21
得点2G	10	--	21

名前	名前	VS	名前
結果ゲーム数	0	--	2
得点1G	12	--	21
得点2G	20	--	22

### <反省事項の共有とコメント>

**目的意識**  
ラウンド側からスマッシュを打って前に飛とされたシャトルをブッシュって打つというのをステップを早くして取れるように意識をさせてコースも狙うように意識しました。

**気づき・学び**  
自分はブッシュがネットにかける事が多いのでワントンボ早く触ったり早くフットワークをすればいいということが分かりました。

**次に向けて**  
次は今回見つけたラウンド側でスマッシュを打って前のシャトルというブッシュがまだ正確なコースに打てたりできていないので次はコースをしっかり見て触るタイミングなどをしっかり確認しようと思います。

### <事務連絡>



### <練習メニューの共有>

**名前**  
投稿日: 2024/12/9(月)  
公開範囲: 全体

**活動内容**  
ランニング  
ステップ  
フットワーク  
ゲーム  
レシーブのノック  
課題別練  
ゲーム

**50点**

### ② シャトルかご・ホワイトボードの使用



### ③ きびじアリーナでの練習



6 取組における工夫点

〇この事業が終了した来年度以降も持続可能となるような取り組みができるように、講師の方からアドバイスをいただいた。

	<p>○本事業が地域移行に向けての足掛かりとなるように、教員側の負担も考慮しながら取り組みを行った。</p> <p>○生徒が主体的に取り組めるように、アンケート結果等をふまえて練習メニューを作成した。</p>
<p>7 主な成果</p>	<p>&lt;成績結果&gt;</p> <p>(団体戦) 男子のみ県総体ベスト8以上</p> <p>(個人戦) 県ベスト32以上・シングルス3名以上出場・ダブルス3ペア出場</p> <p>&lt;意識調査の結果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「与えられた場所と時間の中で効率的に練習を行い、技術とやりがい向上した」</li> <li>②「練習メニューの意図を理解し、効果的な練習を行うことができた」「フォームが改善された」</li> <li>③「自ら設定した目標に対して、主体的に練習に取り組むことができる」などの質問事項の達成率が90%以上となった。</li> </ol> <p>&lt;顧問の目標の結果&gt;</p> <p>「指導者に効果的・効率的な練習方法を学び、練習メニューを改善できる」を達成することができた。</p> <p>&lt;アンケート結果&gt;</p> <p><b>【練習メニュー】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「問題に直面した時、いくつかの解決法をいつも思いつくことができる。」50%から53%へ</li> <li>②「自分で考えて練習をする時間が欲しい。」56%から75%へ</li> <li>③「自分でしたいメニューを考えることができる。」79%から91%へ</li> <li>④「取り組み方を工夫する力やそのための知識を持っている。」56%から75%へ</li> <li>⑤「目標を達成することは私にとって簡単である。」15%から20%へ 以上の質問に対する肯定率が向上した。</li> </ol> <p><b>【講師派遣】</b></p> <p>アンケートで、5段階評価のうち、満足度4.73であった。</p> <p><b>【部活動アプリ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「反省を書くことで効率的な技術向上につながった」肯定率90%</li> <li>②「仲間の反省を見ることで、互いに高め合うことができる」肯定率78%</li> <li>③「予定表を紙でなく、アプリで見たい」肯定率66%</li> <li>④「部活動の出欠をアプリで行いたい」肯定率72%</li> <li>⑤「来年度も部活動アプリを使用したい」肯定率81%</li> </ol> <p><b>【シャトルかご・コート外練習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「準備片づけが早くなった。」「準備・片づけが楽になった」の質問の肯定率がどちらも90%を越えた。</li> <li>②「コート外練習は必要である」「コート外練習を意欲的に行っている」の質問に対しての肯定率が80%であった。</li> </ol>

	<p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あなたは、今の合理的でかつ効率的・効果的な部活動に満足していますか」の肯定率が77%から100%に向上した。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的練習⇒効果的な視点での長期的指導</li> <li>・指導者一人当たりに対しての生徒の割合</li> <li>・部活動の地域移行のため</li> </ul> </li> <li>○効率的部活動練習・運営を目指す意識の統一 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践しようとする意欲・意志⇒コート外でも練習</li> <li>・指導、生徒ともに「目標」と「目的」を一致させる</li> </ul> </li> <li>○教員業務との兼ね合い <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的・効果的な指導⇒変化・成果を「みとる」</li> </ul> </li> </ul>
9 提案等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動実践を外部指導者と顧問が協働して、一年間行った上での地域移行 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒生徒理解や現状の把握、目標と目的の共有</li> </ul> </li> <li>○「トップアスリート・上級者」との交流・見学 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒「効率的・効果的な部活動実践」の根幹は、“生徒の実践意欲”</li> <li>⇒顧問は「指導者」から「伴走者」へ</li> </ul> </li> <li>○ICTの活用（部活動アプリ・Classroomなど） <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒目標・課題の共有は地域移行後も対応可</li> <li>⇒生徒・教員ともに運営面での負担軽減</li> </ul> </li> </ul>